

2010 年 JACM 総会報告

吉村忍 JACM 副会長・事務局長 (東京大学), 岡田浩 JACM 企画委員 (東京理科大学)

第9回世界計算力学会議と第4回アジア太平洋計算力学会議の合同会議 (WCCM/APCOM2010) の初日, 2010 年 7 月 19 日 (月) の昼休みの時間帯に, 2010 年 JACM 総会が開催されました。JACM 総会は, 毎年, IACM 傘下の計算力学国際会議である WCCM や APCOM, ECCOMAS, USNCCM に合わせて開催されています。2009 年は, 7 月に米国オハイオ州コロンバスで開催された, 第 10 回 USNCCM の折に開催されました。「総会」というと何やら堅苦しい会議をイメージしますが, 実際には, 国際会議に参加する JACM メンバーやその研究室の学生たちや家族などが昼食時に集まり, その場所ならではの食事をしながら, 会議の様子や最新研究動向に関する情報交換の他, 現地の文化・レストラン・エンターテイメント情報などについて会話をしながら楽しいひと時を過ごします。

今回の会場は, Sydney Convention and Exhibition Centre に隣接する Harbourside Shopping Centre の 1 階にあるレストラン Bluefish Seafood Restaurant で開催されました。メニューには, 前菜に鯛とエビのダンプリング, メインはカンガルー肉のステーキ, チキンパスタあるいは白身魚グリルからの 1 品を選択, 最後のデザートはストロベリーソース付きバニラクリームブルレでした。

今年の総会には, 宮崎則幸会長・京大, 青木尊之副会長・東工大, 萩原世也事務局長補佐・佐賀大, 池田徹企画委員・京大, 西脇眞二企画委員・京大, 安達泰治・京大, 石原大輔・九工大, 泉井一浩・京大, 大崎純・広島大, 大野信忠・名大, 荻野正雄・九大, 梶島岳夫・阪大, 金山寛・九大, 河合浩志・東大, 小金丸正明・福岡県工業技術センター, 越塚誠一・東大, 塩谷隆二・東洋大, 宍戸信之・名工大, 白鳥正樹・横国大, 肖鋒・東工大, 杉本振一郎・東大, 高橋昭如・東京理科大, 武富紳也・京大, 只野裕一・佐賀大, 長嶋利夫・上智大, 中林靖・東洋大, 西岡俊久夫妻・神戸大, 野田茂穂・理研, 橋本学・理研, 姫野龍太郎夫妻・理研, 深淵康二・慶大, 藤本岳洋・神戸大, 松本洋一郎・東大, 松本龍介・京大, 宮村倫司・日大, 村山敏夫・ソニー, 矢川元基・東洋大・APACM 事務局長, 山田知典・原子力機構, 山本誠・東京理科大, 和田義孝・諏訪東理大の方々, に加えて, 各メンバーの研究室の研究員・学生など総勢 49 名が参加しました。昨年の参加者が 21 名でしたので倍増以上でした。しかも, 事前登録を 10 数名も上回る数でした。

吉村の司会のもと JACM 総会の公式行事がスタートしました。はじめに, 宮崎則幸会長から挨拶があり, 総会参加へのお礼と JACM の近況報告が述べられました。続いて総会のメインイベントである 2010 年度 JACM Award の授賞式がありました。今回の受賞者は, JACM Computational Mechanics Award が, 大野信忠・名大教授, 中橋和博・東北大学教授 (総会欠席) の 2 名, JACM Fellows Award が, 池田徹・京大准教授, 金山寛・九大教授, 萩原世也・佐賀大教授, 田中伸厚・茨城大准教授 (総会欠席)

の 4 名, JACM Young Investigators Award が, 今井陽介・東北大助教 (総会欠席), 坪田健一・千葉大准教授 (総会欠席), 高木知浩・京都工芸繊維大准教授 (総会欠席) の 3 名であり, 出席された方々と代理出席された方々それぞれに宮崎会長より賞状が授与されました。

続いて, 今年度新しく制定された名誉員 (Honorary Member) の授与式がありました。今年の授与者は, 白鳥正樹・横浜国大名誉教授, 矢川元基・東洋大教授/東大名誉教授, 小林昭一・京大名誉教授 (総会欠席), 小林敏雄・日本自動車研究所長/東大名誉教授 (総会欠席), 里深信行・京都工芸繊維大名誉教授 (総会欠席) の 5 名であり, 出席された 2 人に宮崎会長より名誉員証が贈られました。それぞれの賞の受賞者を代表し, 大野教授, 金山教授, 白鳥教授よりそれぞれに喜びのご挨拶をいただきました。

引き続いて, 吉村より配布資料に基づき, JACM の過去 1 年間の活動概要と今後の活動計画について報告がありました。まず, JACM の会員数が 278 名 (2010 年 7 月 19 日現在) であること, メールマガジンが No.1~6 まで発行済みであること, 2010 年 5 月 19 日に京都大学において企画委員会が開催されたことなどが報告されました。また, IACM や APACM からの要請に応じて, JACM として, WCCM/APCOM2010 の Plenary 及び Semi-plenary 講演者候補者の推薦, IACM General Council メンバー候補者の推薦, 同 Executive Council メンバー候補者の推薦, IACM Award 候補者の推薦, APACM Award 候補者の推薦を行ったことが報告されました。そうした活動の結果として, WCCM/APCOM2010 の Semi-plenary 講演者に宮崎会長が選ばれましたし, 本メールマガジンで別途紹介されているように, 複数の JACM メンバーが IACM や APACM の Award にも選ばれました。

WCCM/APCOM2010 では, JACM メンバーによるミニシンポジウムが 13 件企画されていること, また, 今回は, 最近亡くなられた世界の計算力学に貢献された研究者を追悼することとなり, JACM と JSCES が共同で故田中正隆・信州大教授と故野口裕久・慶大教授を推薦し, 初日のオープニングセレモニーにおいてお 2 人が追悼されたことが紹介されました。

企画されたミニシンポジウムのタイトルとオーガナイザーは次の通りです。

- (1) Computational Mechanics on GPUs and Modern Many-core Processors (T. Aoki, L. Barba and E. Darve)
- (2) Simulation Technology towards the Hydrogen Use World (H. Kanayama and N. Miyazaki)
- (3) Computational Mechanics for Microsystems Devices, Packaging and Related Materials (N. Miyazaki and C. Bailey)
- (4) Computational Mechanics Aided Origami Engineering (I. Hagiwara)

- (5) Advanced Computational Fluid Dynamics for Flow-Related Multi-Physics Phenomena (M. Yamamoto and M. Tanahashi)
- (6) Recent Advances in Meshfree and Particle Methods (S. Hagihara, S. Koshizuka and Y. Sakai)
- (7) Novel Numerical Methods for Computational Fluid Dynamics (F. Xiao, T. Aoki and T. Yabe)
- (8) High-performance Computing for Structural Mechanics and Earthquake Engineering (M. Ohsaki and M. Hori)
- (9) Advanced Structural and Multiphysics Optimization (S. Nishiwaki, and Y. Y. Kim)
- (10) Recent Developments in Computational Fracture Mechanics (H. Okada, T. Nagashima, Y. J. Kim, K. Ting and G. Yagawa)
- (11) Advanced Computations for Photonic/Phononic Crystals (T. Matsumoto and N. Nishimura)
- (12) Inverse Problems (S. Kubo and T. Matsumoto)
- (13) Mechanics of Heterogeneous Structures (T. Ikeda and H. Koguchi)

次に、JACM 規約の改定について報告がありました。JACM 規約は 2002 年の JACM 設立以来ほとんど改訂が行われてきませんでした。しかし、上位機関である IACM, APACM の規約が昨年大幅に改訂されたことから、これまでの JACM 活動実績をベースに、企画委員会において議論を行い、規約改定案をまとめました。それを、メール審議にて運営委員会に諮り、若干の修正の後に承認されましたので、改訂版が、本総会に報告されました。詳細は、JACM の web ページをご覧くださいと思いますが、主な改訂点は次の通りです。

- 名誉員 (Honorary Member) の規定を新しく設けたこと。
- 運営委員の任期を 1 期 2 年から 1 期 3 年としたこと。
- JACM 会長経験者が、自動的に運営委員に加わるようにしたこと。
- 運営委員の役割を、これまでの実績を踏まえ具体的に記述したこと。
- 役員の任期を 1 期 2 年から 1 期 3 年に変更し、再任は 1 回限りとしたこと。
- 企画委員会の体制・役割を明記したこと。

次に、JACM 共催イベントとして、昨年 9 月 11 日に東京で開催された第 7 回 ADVENTURE 定期セミナーの報告がなされ、JACM 協賛イベントとして、本年 1 月 25 日に東京で開催された第 21 回日本原子力機構 CCSE ワークショップ「原子力耐震計算科学の可能性」の報告、昨年 12 月 19 日に開催された日本機械学会・計算力学技術者認定事業の報告がなされました。さらに、この認定事業は本年度、上級アナリスト試験が 9 月 19 日に東京で開催され、1, 2 級試験が、12 月 11 日に東京、名古屋、大阪、金沢、福岡にて開催されることが報告され、協力の呼びかけがなされた。

最後に、次回の JACM 総会は、2011 年 7 月 25 日-29 日に米国ミネアポリスで開催される第 11 回 USNCCM に合わせて開催されることがアナウンスされた。

はじめに述べたように、今回は事前登録を大きく上回る

参加者が総会に参加し、しかも、WCCM/APCOM 会議の昼休みが 1 時間しかなかったのに対して、食事の注文から料理が出てくるまでに予想以上の時間がかかったため、何人かの方に迷惑がかかってしまいました。ご迷惑をかけた方々にこの場を借りて改めてお詫びさせていただきます。この教訓を今後の総会運営に生かしていきたいと思えます。

以上のようなことは在りましたが、これに懲りずに次回の JACM 総会にもより多くの皆様の参加をお待ちしています。



写真 1 総会会場の様子



写真 2 宮崎会長から JACM Computational Mechanics Award を受けた大野信忠・名大教授



写真 3 宮崎会長から JACM Fellows Award を受けた萩原世也・佐賀大教授



写真4 宮崎会長から JACM Fellows Award を受けた
池田徹・京大准教授



写真6 宮崎会長から JACM 名誉員証を受けた
白鳥正樹・横浜国大名誉教授



写真5 宮崎会長から JACM Fellows Award を受けた
金山寛・九大教授



写真7 宮崎会長から JACM 名誉員証を受けた
矢川元基・東洋大学教授

JACM Awards 贈賞および名誉員証授与報告

宮崎則幸 JACM 会長（京都大学）

2010年7月19日にシドニー市で開催された JACM 総会において、2010年 JACM Award 各賞の受賞者および名誉員(Honorary member)授与者が発表されました。

The JACM Award for Computational Mechanics

大野信忠・名古屋大学教授

（受賞理由：非弾性構成式の開発と FEM 解析コードへのインプリメンテーション、セル状材料の大変形問題への均質化法適用といった計算固体力学分野における先駆的で顕著な業績に対して）

中橋和博・東北大学教授

（受賞理由：CFD アルゴリズムに関する研究と任意 3 次元物体周りの圧縮性流体 CFD ソフト開発といった計算流体力学分野における先駆的で顕著な業績に対して）

The JACM Fellows Award

池田徹・京都大学准教授

（受賞理由：異種材き裂と異種材接合角部の応力拡大係数解析法に関する顕著な業績と、JACM へのサポートおよび国際的学会活動への貢献に対して）

金山寛・九州大学教授

（受賞理由：大規模有限要素解析ソフトウェアの開発に関する顕著な業績と、JACM へのサポートおよび国際的学会活動への貢献に対して）

田中伸厚・茨城大学教授

（受賞理由：高精度数値流体解析スキームに関する顕著な業績と、JACM へのサポートおよび国際的学会活動への貢献に対して）

萩原世也・佐賀大学教授

（受賞理由：メッシュフリー法に関する顕著な業績と、JACM へのサポートおよび国際的学会活動への貢献に対して）

The JACM Award for Young Investigators in Computational Mechanics

今井陽介・東北大学助教

（受賞理由：高精度流体計算手法の開発とその生理流体力学問題への適用に関する優れた業績に対して）

高木知弘・京都工業繊維大学准教授

（受賞理由：フェーズフィールド法の材料組織形成シミュレーションへの適用に関する優れた業績に対して）

坪田健一・千葉大学准教授

（受賞理由：計算力学手法を用いた大規模生体力学シミュレーションに関する優れた業績に対して）

なお、各賞の表彰規定は次の通りです。

The JACM Award for Computational Mechanics

日本計算力学賞（年に1回程度表彰、3名以内）

計算力学の広い分野での顕著な研究業績、ソフトウェア開